

「中野区コミュニティ・スクール」の構築に向けたモデル校の選定について

学校、家庭、地域が協働し、子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを推進するため、令和4年度のモデル校を以下のとおり選定し、区立小中学校に(仮称)「学校運営協議会」と(仮称)「地域学校協働本部」を設置する。

モデル校においては、(仮称)「学校運営協議会」で目標やビジョンについて協議を重ね、(仮称)「地域学校協働本部」における学校支援ボランティアの学校支援活動につなげていく。こうした取組を着実に進めながら、全校導入に向けて、「中野区コミュニティ・スクール」を構築していく。

1 モデル校(令和4年度)

鷺宮小学校、啓明小学校、西中野小学校、美鳩小学校、明和中学校

2 選定理由

- (1) モデル校には、他区でのコミュニティ・スクール導入経験や実践経験のある学校長がいることで、「中野区コミュニティ・スクール」の構築に向けて、その経験と知識を生かすことができる。
- (2) 学校数が一番多い明和中学校区をモデル校とすることで、次年度以降の導入拡大に向けて、様々な検証が可能となるとともに、学校を核とした新たな地域ネットワークづくりについても検証できる。

3 設置単位

- (1) (仮称)学校運営協議会
明和中学校区に一つ設置する。
- (2) (仮称)地域学校協働本部
鷺宮小学校、啓明小学校、西中野小学校、美鳩小学校、明和中学校の各校に設置する。

4 今後のスケジュール(予定)

令和4年	6月30日	子ども文教委員会報告
	7月～	モデル校との調整、導入準備
	9月以降	モデル校での活動開始